

○刷から	○刷での修正	ページ	箇所	誤	正
3	4	3	第1章目次	4. 日本語のリズム(音 声 ・拍)	4. 日本語のリズム(音 節 ・拍)
3	4	8	下のふきだし	手話はちゃんと言語としての構造を持つて る いるんだ。	手話はちゃんと言語としての構造を持つて い るんだ。
3	4	20	見出し	4. 日本語のリズム(音 声 ・拍)	4. 日本語のリズム(音 節 ・拍)
3	4	21	1行目	日本語 は 音節は基本的に母音で終わります。	日本語 の 音節は基本的に母音で終わります。
3	4	21	2段落目下	發 音	撥 音
3	4	21	「つたえるはつおん」QRコード		差し替え
3	4	27	第2段落2文目	本来は終わりから2拍目にアクセントがある型ですが、 それが長音や母音であるために、終わりから 3拍目にアクセント核が移ったと考えられる動詞です。	本来は終わりから2拍目にアクセントがある型ですが、 終わりから3拍目にアクセント核が移ったと考えられる動詞です。
3	4	39	「RAICHO毎日の発音練習」のURL	http://raicho.ier.u-toyama.ac.jp/pronunciation/	http://www3.u-toyama.ac.jp/raicho/pronunciation/index.html
3	4	39	「つたえる はつおん」のURL	http://www.japanese-pronunciation.com	https://www.japanese-pronunciation.com
3	4	58	3.6. 和製英語 下から2行目	このような次から次と作られる語は辞書に載ることもあれば、 すぐに使われなくなって、辞書には載らないこともあります。	このような次から次へと作られる語は辞書に載ることもあれば、 すぐに使われなくなって、辞書には載らないこともあります。
3	4	65	「複合動詞レキシコン」QRコード		差し替え
3	4	69	3段落目	こらは若者が使うKY語と呼ばれることもありますが、実はアルファベットを使った略語は普通の日本語や英語にも多くあります。	こらは若者が使うKY語と呼ばれることもありますが、実はアルファベットを使った略語は普通の日本語や英語にも多くあります。
3	4	69	3段落目下 「JAL」の正式名称	JAL (Japan Air Line)	JAL (Japan Air Lines)
3	4	84	第1段落2文目	Subj et	Subj ect
3	4	84	第1段落真ん中	我愛你 .	我愛你 。
3	4	84	第2段落下	○我愛你。 ×我你愛。 ○你愛我。	○我愛你。 ×我你愛。 ○你愛我。
3	4	114	第2段落7文目	例えば、ヲ格は、 ヲ格または対格 accusative (case)と呼ばれます。	例えば、ヲ格は、 対格 accusative (case)とも呼ばれます。
3	4	123	注	二重目的 動詞	二重目的 語動詞
3	4	124	「有情物」ルビ	うじょうぶつ	ゆうじょうぶつ
3	4	126	2文目	意志動詞は自分の意志でコントロール できるものです。	意志動詞は自分の意志でコントロール できるものです。
3	4	127	図の説明	→ はモノや行為の方向を します。	→ はモノや行為の方向を 示します。
3	4	128	下のふきだし 3文目	そうやって教師と学習者(=私)の視点が 一致させるんだよ。	そうやって教師と学習者(=私)の視点を 一致させるんだよ。
3	4	129	第2段落1文目	受け手が人の場合か組織の場合か でも「～てもらう」に違いがあります。	受け手が人の場合か組織の場合か の違いは、「もらう」でも生じます。
3	4	131	第2段落2文目	本来の可能形から「ら」がなくなった形なので、「 ら抜き言葉 」と言います。	本来の可能形から「ら」がなくなった形なので、「 ら抜き言葉 」と言います。
3	4	134	二つ目の例文	学生は図書館で資料のコピー{ を /△が}できる。 明日、発表{ を /△が}できますか。	学生は図書館で資料のコピー{△ を /が}できる。 明日、発表{△ を /が}できますか。

3	4	144	A④前置き 4文目	前置きは聞き手に相手に自分の話を聞いてもらう気持ちの準備をしてもらうために使います。	前置きは聞き手に自分の話を聞いてもらう気持ちの準備をしてもらうために使います。
3	4	159	④見出し	④通過点・経路 Pass	④通過点・経路 Path
3	4	160	⑤見出し	⑤時間の経過 Temporal Pass	⑤時間の経過 Temporal Path
3	4	162	⑤変化の結果 (13)	(13)すべて、水泡と化してしまった。	(13)すべて、灰と化してしまった。
3	4	162	⑤変化の結果 例文下 4文目	「～となる、～と化す」は完全に変化することを表しますが、「～に変わる、～に減る、～に増える」などは、(短い時間で)部分変化や少しずつの変化を表します。	「～となる、～と化す」は完全に変化することを表しますが、「～に変わる、～に減る、～に増える」などは、部分変化や少しずつの変化を表します。
3	4	162	⑤変化の結果 例文下 6文目	なので「～と」を取らないと言えます。	それで「～と」を取らないと考えられます。
3	4	164	2.8.7. 格助詞の階層 1文目	この図は「が」「を」「に」には文法的や役割を表す文法格の用法があり、「を」「に」以下には具体的な意味を表す意味格の用法があることを表しています。	この図は「が」「を」「に」には文法的な役割を表す文法格の用法があり、「を」「に」以下には具体的な意味を表す意味格の用法があることを表しています。
3	4	166	例文(22)	(22)あ、こんなところに眼鏡があった。[現象文]([名詞文]より優先)	(22)あ、こんなところに眼鏡があった。[現象文](発見)
3	4	167	例文(28)	[従属節の中]	[「ので」従属節の中]
3	4	167	例文(29)	[従属節の中]	[「ので」従属節の中]
3	4	167	例文(30)	[名詞節の中]	[「ので」名詞節の中]
3	4	171	第3段落1文目	これらの関係を図示すると、次のようになります。	これらの関係を図示すると、上のようになります。
3	4	171	第3段落3文目	基準時からみて、▽で表される従属節は、先に起こることが示されています。	基準時からみて、▽で表される従属節は、前に起こることが示されています。
3	4	171	第3段落4文目	「勉強する」ときよりも先に「ゲーム」をするということです。	「勉強する」ときよりも前に「ゲーム」をするということです。
3	4	171	第3段落7文目	従属節の過去形は過去を表すのではなく、「勉強する」という主節の基準時よりも先の出来事であるということを示しているものです。	従属節の過去形は過去を表すのではなく、「勉強する」という主節の基準時よりも前の出来事であるということを示しているものです。
3	4	171	第4段落1文目	ところで、単文の時も、過去形は基準時よりも先を表しました。	ところで、単文の時も、過去形は基準時よりも前を表しました。
3	4	171	第4段落2文目	単文では基準は発話時(=今)なので、基準時より先は過去になります。	単文では基準は発話時(=今)なので、基準時より前は過去になります。
3	4	171	第4段落3文目	複文のとき、従属節は、主節の基準時より先ということを示しますので、この例文のように、「ゲームをした」であっても、それが起きるのは過去ではなく、未来です。	複文のとき、従属節は、主節の基準時より前ということを示しますので、この例文のように、「ゲームをした」であっても、それが起きるのは過去ではなく、未来です。
3	4	171~172	第4段落4文目	未来の「勉強する」ときよりも先ですが、勉強もゲームも未来の出来事です。	未来の「勉強する」よりも前ですが、勉強もゲームも未来の出来事です。
3	4	172	図(2)下 2文目	過去形は主節の基準時よりも先に従属節の出来事が起きることを表すのでしたね。	過去形は主節の基準時よりも前に従属節の出来事が起きることを表すのでしたね。
3	4	172~173	図(4)下 2文目	従属節の「ゲームをする」は非過去形なので、主節の「勉強」という基準のときの後にゲームが来ます。	従属節の「ゲームをする」は非過去形なので、主節の「勉強」を基準として、その後にゲームが来ます。
3	4	173	例文(8)下 3文目	ハワイに行くのが先、水着を買うのが後です。	ハワイに行くのが前、水着を買うのが後です。
3	4	173	例文(8)下 5文目	つまり、(6)ではハワイで水着を買うということを書いて、(8)ではハワイで水着を買ったということを書いてます。	つまり、(6)ではハワイで水着を買うという未来を書いて、(8)ではハワイで水着を買った過去のことを書いています。
3	4	173	例文(8)下 6文目	どちらも水着の購入先はハワイです。	どちらも水着の購入場所はハワイです。
3	4	174	例文(11)(12)下 7文目	どちらが先か後かという相対的な順番は表していません。	どちらが前か後かという相対的な順番は表していません。
3	4	175	例文(13)(14)下 1文目	(13)の「掃除もする」「洗濯もする」は発話のときを基準にして未来のことを表していて、どちらが先、どちらが後かはわかりません。	(13)の「掃除もする」「洗濯もする」は発話の時を基準にして未来のことを表していて、どちらが前、どちらが後かはわかりません。
3	4	188	例文(16a)~(16c)下 2文目	(16a)に対応しそうな(16c)は正しくない文になっています。	(16a)に対応しそうな(16c)は正しくない文になっています。

3	4	190	例文(30a)(30b)下	(31a)の能動文では、「私の足」よりも視点を置きやすい「私」が主語になっているので自然です。この能動文に対して、持ち主の受身(31b)と「私の足」を主語にした直接受身文(31c)を作ることが可能です。しかし、(31c)は(31b)に比べて不自然になります。それは「私の足」は話し手である「私」よりも視点が置きにくいにもかかわらず、「私の足」を主語にしているからです。	(31a)の能動文に対して、持ち主の受身(31b)と「私の足」を主語にした直接受身文(31c)を作ることが可能です。(31b)は「私」が主語になっているので自然です。しかし、(31c)は(31b)に比べて不自然になります。それは「私の足」は話し手である「私」よりも視点が置きにくいにもかかわらず、「私の足」を主語にしているからです。
3	4	194	6. モダリティ 8文目	「明日雨が降る。」という文では、形はありませんが、話し手が断定という判断をしています。	「明日雨が降る。」という文では、発音される語はありませんが、話し手が断定という判断をしています。
3	4	197	考えよう 6 2文目	そこで、初級では教えても無駄だから教えない方がいい、という意見についてどう思いますか。	そこで、初級では教えても無駄だから教えない方がいい、という意見もあります。これについてどう思いますか。
3	4	197	考えよう 7 1文目	子どものときに母語として習得する場合も大人になってから外国語として学習する場合でも、進行(たとえば「雨が降っている。」)が先、結果(たとえば「お金が落ちている」)が後に使えるようになると言われていました。	アスペクトについて子どものときに母語として習得する場合も大人になってから外国語として学習する場合でも、進行(たとえば「雨が降っている。」)が先、結果(たとえば「お金が落ちている」)が後に使えるようになると言われていました。
3	4	202	第1段落3文目	例えば、言葉の乱れと言われている「ら抜き言葉」なども、それを使う人が多くなれば、共通語の一部になります。	例えば、言葉の乱れと言われている「ら抜き言葉」なども、それを使う人が多くなれば、いつか共通語になります。
3	4	202	第2段落5文目	例えば、テレビ(特にNHK)のニュースでアナウンサーが話す日本語や、教科書に書かれている日本語を標準語ということがよくあります。	例えば、テレビ(特にNHK)のニュースでアナウンサーが話す日本語や、教科書に書かれている日本語を標準語ということがあります。
3	4	202	第2段落6文目	定義の上では日本には標準語はないのですが、テレビや教科書で使われる日本語が「正しい」日本語だと考え、それを標準語と呼ぶ人が多いのです。	定義の上では日本には標準語はないのですが、テレビや教科書で使われる日本語が「正しい」日本語だと考え、それを標準語と呼ぶ人が多いのです。
3	4	203	第3段落最後の1文	NHKでは「にっぽん」と読むとして国名の「日本」も、「日本に行きます。」のような場合、「にほん」と言う人が多いでしょう。	NHKでは「にっぽん」と読むとして国名の「日本」も、「日本に行きます。」のような場合、「にほん」と言う人も多いでしょう。
3	4	205	柱(ページ右上)	4. 公用語と国語	5. 位相
3	4	205~206	第2段落6文目	また、「～わ」などは実は今ではほとんど実際に使われることはありません。	また、例えば「～わ」は今ではほとんど実際に使われることはありません。
3	4	206	見てみよう!	『役割語』について学ぼう!	『ポップカルチャーと役割語』
3	4	206	見てみよう! QRコード		差し替え
3	4	207	柱(ページ右上)	4. 公用語と国語	6. 社会言語能力・社会文化能力
3	4	207	第1段落5文目	例えば声の調子や敬語などを調整して、「これを差し上げます。」などという適切な表現にでき、適切な場面で適切な相手に対して使える能力のことです。	例えば声の調子や敬語などを調整して、「これを差し上げます。」などという適切な表現にでき、いろいろな場面で相手に対して適切に使える能力のことです。
3	4	207	第1段落9文目	「これ、もしよろしかったら。」や「これ、お土産なんです。」というようにして「差し上げます」と言うことを避ける方が適切です。	「これ、もしよろしかったら...」や「これ、お土産なんです...」というようにして「差し上げます」と言うことを避ける方が適切です。
3	4	209	柱(ページ右上)	4. 公用語と国語	6. 社会言語能力・社会文化能力
3	4	210	第2段落	まず、体の動き、つまりジェスチャーです。視線をずらすことで「尊敬、謙讓」を表すこともあります。意識的に行うこともあれば、無意識的に行うこともあります。伝わる情報が多いので、ボディランゲージ(body language)と呼ばれることもあります。また、人の表情はものすごく豊かです。表情だけで何を言いたいのか分かることも多いでしょう。視線をずらすことで「尊敬、謙讓」を表すこともあります。	まず、体の動き、つまりジェスチャーです。意識的に行うこともあれば、無意識的に行うこともあります。伝わる情報が多いので、ボディランゲージ(body language)と呼ばれることもあります。また、人の表情はものすごく豊かです。表情だけで何を言いたいのか分かることも多いでしょう。視線をずらすことで「尊敬、謙讓」を表すこともあります。
3	4	211	柱(ページ右上)	4. 公用語と国語	7. 非言語コミュニケーション
3	4	216	第1段落4文目以降	ニーズ分析には学習に使うことのできる資源(時間、費用など)も含まれます。ニーズ分析・レディネス調査から始まるコースデザインは以下のような流れになります。	学習に使うことのできる資源(時間、費用など)も調べます。これをレディネス調査と言います。ニーズ分析・レディネス調査から始まるコースデザインは以下のような流れになります。

3	4	216	②学習目標の決定	ニーズ分析と学習者のレディネスreadinessを考慮して決めます。言語学習にどれだけ準備ができていたかということです。	ニーズ分析と学習者のレディネスreadiness(準備状況)を考慮して決めます。
3	4	217	⑤授業計画、教案作成	授業計画をシラバスと呼ぶことがあります。	授業計画をシラバスと呼ぶことがあります(シラバスのもう一つの意味は1.2.を参照)。
3	4	218	図の下 1文目	これは、日本語教育は終わりのない、不断の改善サイクルという捉え方です。	これは、日本語教育も終わりのない、不断の改善サイクルという捉え方です。
3	4	218	1.2. シラバスと教授法 1文目	シラバスは、学習項目を順番に並べたものです。	学習項目を順番に並べたものをシラバスと呼ぶことがあります。
3	4	219	①文法シラバス 5文目	この方法は、コミュニケーション能力が付かないということで根強い批判がありますが、これまでもっとも多く使われてきたのは文法シラバスで、これに基づく教授法を「文法積み上げ式」または「文型積み上げ式」と呼ぶこともあります。	この方法には、コミュニケーション能力が付かないということで根強い批判がありますが、これまでもっとも多く使われてきたのは文法シラバスで、これに基づく教授法を「文法積み上げ式」または「文型積み上げ式」と呼ぶこともあります。
3	4	219	②場面シラバス 4文目	必ずしも文字の学習を必要としないので、ローマ字で書かれた教材を使うこともあります。	文字の学習を必要としない場合、ローマ字で書かれた教材を使うこともあります。
3	4	220	⑦タスクシラバス 2文目	Can-do 項目に基づくシラバスもタスクシラバスです。	Can-do 項目に基づくシラバスもタスクシラバスですが、Can-do シラバスと呼ばれることもあります。
3	4	220	⑦タスクシラバス 5文目	このような積み上げ型のタスクは TBLT (Task-based Language Teaching) という方法で使われます。	このようなタスクは TBLT (Task-based Language Teaching) という方法で使われます。
3	4	220	下のふきだし	リバースエンジニアリング的な方法がい いんじゃないかな。まず、学習者のニーズを見極め、それ に適した教科書を決める。すると、教科書によってシラバスも自然と決まっていくな。	リバース・エンジニアリング的な方法が いいんじゃないかな。バックワード・デザインとも言わ れるね。まず、学習者のニーズを見極め、目標(と評価方法)を決める。すると、シラバスや教科書も自然と決まっていくな。
3	4	221	第1段落最後 1文	この方法は行動中心アプローチとも呼ばれます。	この方法は行動中心アプローチにも通じます。
3	4	222	2.1. 教材・教具 2文目	以前から使われている物もあれば、最近急に使われ出したもの、特に IT の発達に伴う、機器やアプリなども教材・教具に含まれます。	以前から使われている物もあれば、最近使われるようになったもの、特に IT や AI の発達に伴う、機器やアプリなども教材・教具に含まれます。
3	4	223	⑤動画 3文目	かつては大変だった自主制作も、最近ではスマホで簡単に録画・編集することが可能になりました。	かつては大変だった自主制作も、最近ではスマホでも簡単に録画・編集することが可能になりました。
3	4	223	⑥LL (language laboratory) から e ラーニング / アプリへ 第1段落2文目	繰り返し練習ができる、教師の代わりにテープを使って自習ができるなどのメリットがありましたが、設備が高価、設備維持にもコストがかかる、そしてミューニカティブな学習ができないなどの理由により、次第に使われなくなってきました。	繰り返し練習ができる、教師の代わりにテープを使って自習ができるなどのメリットがありましたが、設備が高価、設備維持にもコストがかかる、そしてコミュニカティブな学習ができないなどの理由により、次第に使われなくなってきました。
3	4	223	⑥LL (language laboratory) から e ラーニング / アプリへ 第2段落1文目	IT の技術革新はますます速く、大掛かりなものになってきています。	IT や AI の技術革新はますます速く、大掛かりなものになってきています。
3	4	223	2.2. 教材分析 2文目	その際には「カリキュラム」、「シラバス」、「教授法」、「教室活動」を考慮しながら「ニーズ」、「レディネス」などを効率よく満たすものを選びます。	その際には「カリキュラム」、「シラバス」、「教授法」、「教室活動」を考慮しながら「ニーズ」、「レディネス」などを効率よく満たすものを選びます。
3	4	224	2.3. 教材開発 第2段落3文目	最近では、デジタル化が進み、コンピューター上での編集が行いやすくなったため、作成の負担も大分軽減され、教材の開発も個人レベルで行えるようになってきました。	最近では、デジタル化が進み、AI も実用化され、コンピューター上での編集が行いやすくなったため、作成の負担も大分軽減され、教材の開発も個人レベルで行えるようになってきました。
3	4	224	2.3. 教材開発 第3段落5文目	一般の著作物を教員自らが部分的にコピーし、教室で使用する場合にも問題なく使うことが許されています。	一般の著作物を教員自らが部分的にコピーし、教室で使用する場合にも使うことが許されています。
3	4	224	2.3. 教材開発 第3段落11文目	このように、教育のためとはいえ、著作権者の利益を守らないということは許されませんし、そういうことを続けていると、出版社も日本語教育のためのテキストや教材を作らなくなってしまいうでしょう。	このように、教育のためとはいえ、著作権者の利益を守らないことは許されませんし、そういうことが横行すると、出版社も日本語教育のためのテキストや教材を作らなくなってしまいうでしょう。
3	4	225	3.1. 評価の種類 2文目	どちらも日本語に訳すと「評価」になりますから、ここでは英語をそのままカタカナにして分けて使います。	どちらも日本語に訳すと「評価」になりますから、ここでは英語をそのままカタカナにして使い分けます。

3	4	225	3.1. 評価の種類 表「総括的評価」	コースの終了時に学習目標の最終的な到達度を測定するもの。結果はコース全体のコースデザインにフィードバックされる。	コース全体の終了時に学習目標の最終的な到達度を測定するもの。結果はコースデザインにフィードバックされる。
3	4	227	QRコード下本文1文目	これを実現するための理論を項目応答理論 (IRT) と言います。	J-CATや新しいJLPTで使われている理論を項目応答理論 (IRT) と言います。
3	4	227	「J-CAT」QRコード		差し替え
3	4	228	5～6行目 (4刷では6行目)	このようなテストの結果からは2人の実力が同じだとは言えません。	このようなテストの点数からは2人の実力が同じだとは言えません。
3	4	228	6～7行目 (4刷では7行目)	このように満点や満点に近い点数では実力差が見えにくくなります。	このように満点や満点に近い点数では実力差が見えにくくなります。
3	4	232	2～4行目	一方、ほかの人に手伝ってもらってでもタスクが遂行できているとして、それを含んで評価するという考え方もあります。	一方、ほかの人に手伝ってもらってでもタスクが遂行できればよいとして、それを含んで評価するという考え方もあります。
3	4	233	柱 (ページ右上)	3. テストと評価	4. 教室活動
3	4	233	4.1. 第2段落2文目	このうち、ロールプレイなどペアやグループで行う活動では、インフォメーション・ギャップがあることが求められます。	このうち、ロールプレイなどペアやグループで行う活動では、インフォメーション・ギャップがあることが求められます。
3	4	235	柱 (ページ右上)	3. テストと評価	4. 教室活動
3	4	237	柱 (ページ右上)	3. テストと評価	4. 教室活動
3	4	238	「リキャスト」「反復」「明確化要求」の例の下の段落 5文目	また、間違っていることは理解できても正しい訂正できないこともあります。	また、間違っていることは理解できても正しく訂正できないこともあります。
3	4	238	「リキャスト」「反復」「明確化要求」の例の下の段落 8文目	つまり約70%で、教師のフィードバックに学習者が気づきませんでした。	削除
3	4	239	柱 (ページ右上)	3. テストと評価	4. 教室活動
3	4	239	上から3文目 (4刷では2文目)	もちろん、これは学習スタイル、教室の雰囲気などにも影響されるでしょうから、ここでの示唆が必ずしもすべての教室、教師、学習者に該当するとは断言できませんが、少なくとも、よいフィードバックの方法として取り上げられることが多いリキャストが必ずしもベストではない ということを覚えておいてもらいたいと思います。	もちろん、これは学習スタイル、教室の雰囲気などにも影響されるでしょうから、ここでの示唆が必ずしもすべての教室、教師、学習者に該当するとは断言できませんが、少なくとも、典型的なフィードバックの方法として取り上げられることが多いリキャストが必ずしもベストではない ということを覚えておいてもらいたいと思います。
3	4	239	ページ最下部		以下のテキストを追加 「私の知り合いの先生に、どうしても「ズボンを着る」と言ってしまう人がいます。日本語が堪能で、ご自身も当然それが間違いだということをご存じですが、それでもときどき間違ってしまうそうです。その先生の母語では「履く」と「着る」を区別しないそうです。その影響もあってか、日本語学習の初期段階でいったん間違っただけで定着してしまったもので、日本滞在が20年に及んでもまだ間違ってしまうとのこと。化石化したものは絶対に直らないということではありませんが、相当頑固なものであることは確かかなようです。」
3	4	244	2番目の著者の発話 2文目	そのときに、オリジナルの教科書を作って、完全な「教えない教え方」を実施しました。	そのときに、オリジナルの教科書を作って、完全な「教えない教え方」を実施しました。
3	4	244	5番目の著者の発話 2文目	私はまったくの素人だったので、本を読んだり、弓道教室に通って習ったりしたんですが、所詮は素人ですから、指導するということを極力抑えて、というか、実際指導ができないので、部員自ら考えるということを要求しました。	私はまったくの素人だったので、本を読んだり、弓道教室に通って習ったりしたんですが、所詮は素人ですから、指導するということを極力控えて、というか、実際指導ができないので、部員自ら考えるということを要求しました。
3	4	248	前ページから続きの著者の発話	「日本語なら Google Translateよりも VoiceTra というアプリの方がいいよ」	「使えるものならなんでも使ってください。AI もいろいろいいのがあるよ。」
3	4	250	「教師の解散」 著者の発話4文目	きっちりとプログラミングされたロボットのようになくなり、教師の発話量が増え、学習者の発話量は少なくなっています。	きっちりとプログラムされたロボットのようになくなり、教師の発話量が増え、学習者の発話量は少なくなっています。

3	4	251	2番目の著者の発話 3文目	表面上いい授業と思われる リズムカルな 授業よりも、つかえたり、沈黙がある。一般的には下手だとみなされる授業の方が、より深い学びが行われている可能性もあるんです。	表面上いい授業と思われる テンポのいい 授業よりも、つかえたり、沈黙がある。一般的には下手だとみなされる授業の方が、より深い学びが行われている可能性もあるんです。
3	4	257	4番目の著者の発話 4文目	パターン化することで、情報 量 を減らして、認識し、記憶するんです。何をどんな順番でするかという パターン なんです、それをスクリプトとも言ったりします。	パターン化することで、情報 処理量 を減らして、認識し、記憶するんです。何をどんな 順番 でするかという パターン なんです、それをスクリプトとも言ったりします。
3	4	258	前ページから続きの著者の発話 5文目	うちの 家内 は、私と付き合うまで、居酒屋というものに行ったことがなかったようです。	うちの (元)家内 は、私と付き合うまで、居酒屋というものに行ったことがなかったようです。
3	4	261	(2)ペスタロッツ 著者の発話 3文目	ペスタロッツ流に解釈すると、そんな 機械的な練習は無意味 ということになります。	ペスタロッツ流に解釈すると、そんな 機械的な練習(だけ)は無意味 ということになります。
3	4	264	(6)イヴァン・イリツ 著者の発話 4文目	そういう人たちはインターネット上のサイトで勉強し、 スカイプ などで日本人あるいは学習者同士で会話をして、日本語をマスターしてしまうんですね。	そういう人たちはインターネット上のサイトで勉強し、 Zoom などで日本人あるいは学習者同士で会話をして、日本語をマスターしてしまうんですね。
3	4	264~265(4刷では265)	264最後~265にかけての文	みんな同時に教師の説明を聞き、一斉に理解することを求められ、一斉に声を出して、声を合わせてコーラス練習をし、順番に、同じペースでパターンプラクティスをする。	みんな同時に教師の説明を聞き、一斉に理解することを求められ、一斉に声を出して、コーラス練習をし、順番に、同じペースでパターンプラクティスをする。
3	4	265	前ページから続きの著者の発話	近頃は、 スカイプ などを使った、安いプライベート・レッスンも出てきていますね。	近頃は、 Zoom などを使った、安いプライベート・レッスンも出てきていますね。
3	4	267	前ページから続きの著者の発話	それぞれの学習者がそれぞれのペースで学習しているなら、多様性はまったく問題になりません。	それぞれの学習者がそれぞれのペースで学習できるなら、多様性はまったく問題になりません。
3	4	269	質問後に始まる著者の発話 5文目	で、話を質問のことに戻すと、手を尽くしても分からないと、TAつまりうちの院生に質問します。	で、話を質問のことに戻すと、手を尽くしても分からないと、TAに質問します。
3	4	269	質問後に始まる著者の発話 6文目	実は、うちの院生も講師役として参加しています。	実は、うちの元院生も講師役として参加しています。
3	4	277	(14)デューイ 著者の発話 6文目	ですから、 Can-do に従って、何が わかったか ではなく、何ができたかを評価の指標にしたりします。	ですから、何が 分かったか ではなく、 Can-do に従って、何ができたかを評価の指標にしたりします。
3	4	279	前ページから続きの著者の発話	私は、以前、領土問題を日本人と留学生が混在する セミナー で取り上げた こと がありました。	私は、以前、領土問題を日本人と留学生が混在する 外部のセミナー で取り上げた こと がありました。
3	4	279	前ページから続きの著者の発話	あのときは、まだ、准教授で、昇進のための人事評価も気になるときでしたから、あらがったりはしませんでした、今は 曲りなりにも教授 ですから、 そんなに恐れること は なくなり ましたので、いろんなことに挑戦 していきたいですね。	あのときは、まだ、准教授で、昇進のための人事評価も気になるときでしたから、あらがったりはしませんでした、今は そんなに恐れること はなくなり ましたので、いろん なことに挑戦していきたいですね。
3	4	279	新しい質問後の著者の発話 2文目	私の 妻 はいつも私に 常識的に生きなさい と言っています。	私の (元)妻 はいつも私に 常識的に生きなさい と言いま した 。
3	4	279	新しい質問後の著者の発話 3文目	私も子どもにも人並みな生活をさせてやりたいと思うので、ルソーみたいにはなれないし、なりたくもありませんので、 妻の許す範囲 でやって行きたいとおもいます。	私も子どもにも人並みな生活をさせてやりたいと思うので、ルソーみたいにはなれないし、なりたくもありませんので、 (元)妻の許す範囲 でやって行きたいと思っ ていました 。
3	4	279	2番目の質問後の著者の発話 1文目	いえ、ただ、 妻に完全にコントロール されているだけです。	いえ、ただ、 (元)妻に完全にコントロール されていた だけ です。
3	4	286	第3章確認問題の解答	1. ①に、で、に、いる	1. ①に、で、いる